

# 防災防犯

### 空き家の予防や活用等のため 居住支援協議会の設置を目指す

虹川 浩議員(公明) ①空き家等対策推進特別措置法や空き家等の適正な管理に関する条例に設定がない項目の検討状況は。

②市町村の協議会設立、運営を支援する都の居住支援協議会運営事業の活用をどう考えるか。  
市長 ①緊急措置や関係機関との連携等の項目設定の必要性は認識している。引き続き必要な項目を検討していく。

### 地域防災を市が もつと支える施策を

幸田昌之議員(公明) ①平成24年に都が発表した地震被害想定を受けての新たな取り組みは。

②市の地震被害想定をどのように市民へ周知しているのか。  
市長 ①平成25年度に地域防災計画を修正し、主な施策として、被災者用備蓄の整備の充実、防災行政無線の新設及び移設、各地域における避難所管理運営マニュアルの作成を進めている。

②地域防災計画の概要版に掲載し配布している。また、ホームページでの周知のほか、地域防災フォーラム等の機会を捉え参加者への周知に努めている。

### 避難所HUGや災害対応カード ゲームを防災力向上に活用せよ

山岸真知子議員(公明) 避難所運営ゲーム(HUG)、災害対応図上訓練(DIG)、災害対応カードゲームクロスロード等を

地域での防災訓練やデリバリーこいだいらで活用してはどうか。  
市長 避難所運営ゲーム等の体験は、災害対応力の向上に有効なツールと認識している。現在、避難所管理運営マニュアルの作成を進めているが、その検討過程でHUGを有効に活用している例もある。デリバリーこいだいらでの活用は、依頼者からの要望を考慮しながら検討していく。



避難所運営ゲーム(HUG)

### (仮称)災害対策基本条例の制定を

伊藤 央議員(政和) 首都直下型地震に対して、市全体、各地域でさまざまな防災、減災の取り組みが行われているが、これらの根拠となる(仮称)災害対策基本条例を制定すべきでは。

市長 地域防災計画の中で、市民、事業者及び市が、それぞれの責務と役割を認識し、予防対策、応急対策及び復興対策において相互に連携して取り組むことを具体的に定めており、計画的に実行している。こうした取り組みの中で防災対策を推進す

る上での実効性が確保されるものと考えているため、現在のところ条例の制定は考えていない。

### 小平市の防犯について

川里春治議員(政和) ①春先に事件が多いが、この時期に特に対応していることはあるか。  
②小川町、仲町、学園西町、学園東町において空き巣等の侵入窃盗が多いが、対応は。

市長 ①毎年3月に自主防犯組織や町会、自治会に対しての地域防犯講座を実施しており、本年も開催する予定である。  
②侵入窃盗の被害が多い地域だけを対象とした対応は行っていないが、市内全体の防犯対策として出前講座や防犯キャンペーン等の機会を捉えて、被害防止の啓発活動に取り組んでいる。

## 公共施設

### バスケットボール落下事故と 市内公共施設の安全性について

磯山 亮議員(政和) ①花小金井南中学校と同様の事故が起これないよう点検体制の強化等の対策が必要だが、見解は。

②公共施設の耐震診断、耐震化工事についての今後の対応は。  
教育長 ①学校管理者等による日常点検のほか、遊具、運動施設等の保守点検業務委託を毎年実施しているが、点検方法や内容について今後検討していく。

市長 ②防災上重要な市有建築物

物の耐震化率は26年度末で96%であり速やかに耐震化を図っていく。その他の公共施設についても耐震化を進めていく。

### 地域センターや公民館などの さらなる利便性向上を

小林洋子議員(フオ) ①地域センターは公共施設予約システムで予約できないが導入予定は。

②集会施設の利用時間をグラウンドなどと同様の2時間単位、空き時間なしで設定できないか。  
市長 ①比較的近い地域住民の利用を想定しているが、市民の活動も市内全域にわたっていることからインターネット施設予約について課題を整理していく。

②現時点では利用時間の区分及び空き時間の変更は考えていないが、今後、地域のさまざまなニーズを捉え、利用状況の分析や利用形態を研究していく。

### 健康センター及び周辺の 施設整備を進めるべき

幸田昌之議員(公明) ①市民広場の出入り口に設置されたパイプ型の車両止めをイベント時には外しており、土台が残り、危険であると考えているが、対策は。

②健康センターへの来場者が多い日には駐輪場が足りないと考えているが、見解は。



健康センターの駐輪場

市長 ①段差を軽減するゴムマットの利用等、イベント主催者として調整し安全対策を講じていく。

### 北側駐車場の一部に駐輪し てもらおう対応をしているが、駐 輪スペースをより明確にするた め、臨時駐輪場の案内を表示す る等の対応をしていく。

花小金井武道館機能の移転など  
市民参加が形骸化していないか

橋本久雄議員(緑) 花小金井南中学校地域開放型体育館建設及び花小金井武道館機能移転の基本方針案はなぜ武道館の耐震診断後に作成しなかったのか。

市長 耐震診断は平成25年に改正された改正耐震改修促進法及び耐震改修促進計画に基づき、27年度に実施したものである。一方で昨年4月に事業者から花小金井南町一丁目の大規模開発事業計画の届け出があり、これに伴い地域開放型体育館建設を早急に進める必要があったことから武道館の耐震診断と並行して基本方針を策定した。

### より使いやすい市立グラウンド にしていくために

吉本ゆうすけ議員(フオ) ①昨年4月から12月の各グラウンドの土日、祝日利用の申し込み件数のうち、10日以内のキャンセル件数及びその後の利用状況は。

②キャンセル状況等のメール配信を検討してはどうか。  
市長 ①1区分2時間で、664区分のキャンセルがあった。当日キャンセルを除き、ほとんどの場合にキャンセル後に利用申請があり、利用されている。

②キャンセル発生後もほとんどが別団体に利用されているた

めメール配信は考えていないが、当日キャンセルの理由等について、今後把握していく。

### 公共施設の再配置は市民と 十分協議して決めるべきです

木村まゆみ議員(共産) ①花小金井武道館の耐震診断の結果に対応した利用の仕方の考えは。

②弓道場は利用者が継続して利用できるような十分協議してほしいと考えるがどうか。  
市長 ①結果を受け、3月25日から臨時休館し、耐震補強設計を行い、引き続き耐震補強工事を行う予定である。その間の活動の場を確保するため、民間施設を借り上げて対応していく。

②今後、花小金井武道館の弓道場利用者と活動の場の確保について引き続き協議していく。

## 医療健康

### データヘルスとフコイン健診で 予防医療と医療費の適正化を

虹川 浩議員(公明) ①ジェネリック医薬品の転換予測と勧奨はできるようなったのか。

②薬局等に併設された検体測定室で特定健診と同程度の健診を500円程度で行う事業者があるが、これらを活用し、1年以上健診を受けていない健診弱者への対応を進めるべきではないか。  
市長 ①100円以上の削減が期待できる対象者を特定し、計10回の勧奨を予定している。

②市民の健康意識を高める手

法の1つと認識しているが、医師の診断を伴わず、補助的なものと捉えている。今後も健診等の定期的な受診を推進していく。

### 前立腺がん検診の 実施状況と今後について

佐藤 充議員(共産) ①申込者数と受診者数のそれぞれ前年度との対比は。

②40歳から70歳までの5歳ごとの女性が対象となるが、5歳ご刻みを撤廃し対象を拡充しては。  
市長 ①申込者数は26年度が75人、27年度が629人であり、受診者数は、26年度が503人、27年度が576人である。

②健康増進法に基づく国の基準に、対象年齢が明記されているため、引き続き、現行の対象年齢で実施していく。

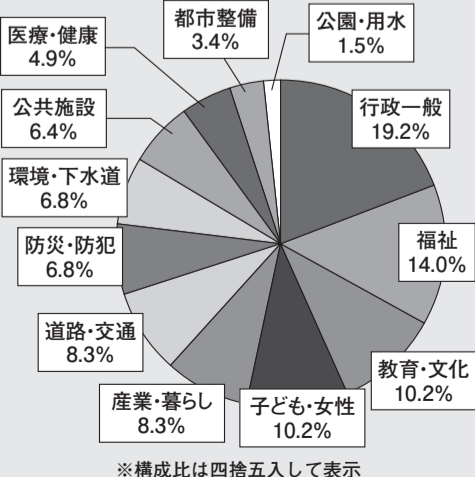
### 掲載分以外の 質問項目

【行政一般】  
○駅前などに投票所の設置を検討せよ

## 一般質問のまとめ

平成27年6月定例会～平成28年3月定例会

### 項目別割合



### 質問者数・件数

定例会名	質問者数	質問件数
27年6月	25	67
27年9月	25	66
27年12月	26	70
28年3月	25	62
合計	101	265
平均	25.3人	66.3件

※平均は小数点第2位四捨五入

### 項目別件数

項目	件数
行政一般	51
福祉	37
教育・文化	27
子ども・女性	27
産業・暮らし	22
道路・交通	22
防災・防犯	18
環境・下水道	18
公共施設	17
医療・健康	13
都市整備	9
公園・用水	4
合計	265件

※構成比は四捨五入して表示